

お客様に
信頼され選択される《ろうきん》をめざします。

四国ろうきん なっとくガイド 2019

2019年9月期

四国ろうきんミニディスクロージャー誌

2019年度上半期の業績・四国ろうきんの健全性

当金庫の仮決算内容についてお知らせいたします。この資料は、当金庫の決算経理規程に基づき作成しているものです。労働金庫法第41条で定められた計算書類等ではありません。この仮決算情報は、法的に義務付けられたものではありませんが、当金庫の直近の経営内容を皆様にご理解いただくために、本決算と同様の基準により集計した結果を自主的に開示するものです。※半期決算は法定されておりませんので、会計監査人監査の対象となっております。

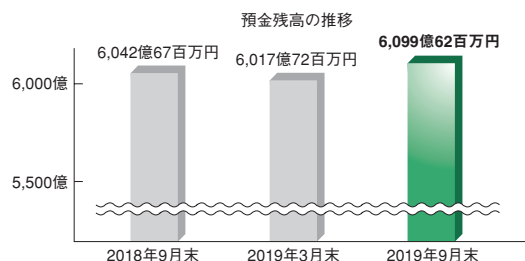
2019年度上半期の業績

預金について

預金は、期首から81億89百万円（1.36%）増加し、2019年9月末の残高は6,099億62百万円となりました。当金庫の預金は、右記の通り大部分が勤労者（個人）の皆様からお預かりしたものです。団体預金は、労働組合や生協、自治体等からお預かりしたものです。

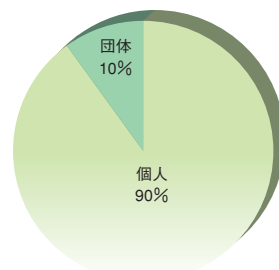
預金残高 (2019年9月末)

6,099億62百万円



※預金残高には、譲渡性預金の残高を含めています。

預金者別残高割合 (2019年9月末)



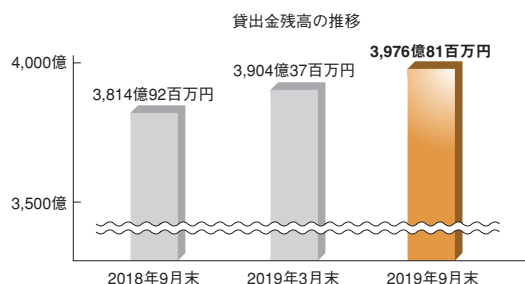
％は単位未満四捨五入

貸出金について

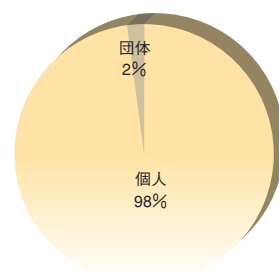
貸出金は、期首から72億43百万円（1.85%）増加し、2019年9月末の残高は3,976億81百万円となりました。貸出金の大部分は、勤労者の住宅資金や自動車費、教育費等に利用されています。団体の貸出先は、主に自治体、公社、生協となっています。

貸出金残高 (2019年9月末)

3,976億81百万円



貸出先別残高割合 (2019年9月末)

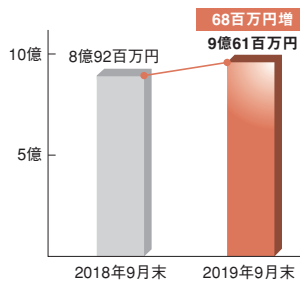


％は単位未満四捨五入

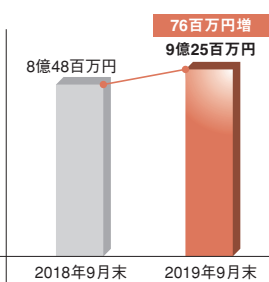
損益について

今年度の仮決算損益は、前年同期と比べて増益となっています。低金利環境下で有効証券利息配当金や預け金利息は減少したものの、貸出金の増加や手数料収入の増加によって収益を確保したことが主な要因となっています。その結果、当期純利益は、前年同期を1億4百万円上回る、7億5百万円となりました。

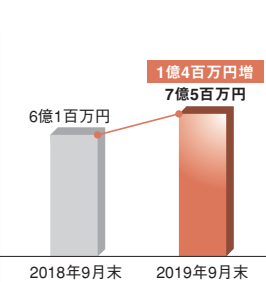
業務純益の推移



経常利益の推移



当期純利益の推移



※業務純益とは、一般事業会社の「営業利益」に相当するもので、資金の運用・調達、サービスの提供など、金融機関の本来業務から生じた利益のことです。

※経常利益とは、業務純益に貸出金償却等の費用、株式等の損益などを加減した利益で、金融機関の通常業務による利益のことです。

※当期純利益とは、経常利益にその年度限りの「特別利益」、「特別損失」、税金等を加減した最終利益です。

金額及び諸比率の表示方法のご案内

金額単位……①特段の表記がない場合は、各表に表示した金額単位未満の端数を切り捨てて記載しています。②小計、合計等の合算は、円単位まで算出し、単位未満を切り捨てて記載しています。したがって、内訳の合計と小計欄・合計欄が一致しない場合があります。③該当する項目に計数がない場合は「-」、単位未満に計数がある場合は「0」で表示しています。
諸比率等……特段の表記がない場合は、円単位の計数を使用して算出の上、小数点第3位以下を切り捨てし、第2位までを記載しています。なお、官庁報告に係る諸比率等については、報告数値をそのまま記載しております。

不良債権について

不良債権については、次の2つの指標を開示しています。これらは、自己資本比率と同様に経営の健全性を計る指標になります。

- リスク管理債権（単体）…労働金庫法（銀行は銀行法）に基づき、貸出金を対象とし査定したものです。約定どおりの返済が困難な取引先等に対する貸出金のことをリスク管理債権といいます。四国ろうきんの貸出金に占めるリスク管理債権の割合は0.62%と低く、貸出金資産の健全性が高いことが示されています。

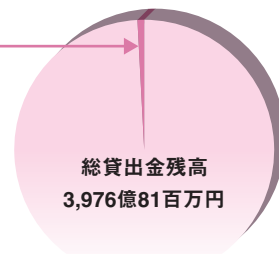
リスク管理債権

0.62% 24億70百万円

リスク管理債権内訳区分

項目	2019年9月末	2019年3月末	(参考) 2018年9月末
破綻先債権	545	482	499
延滞債権	1,767	1,733	1,778
3ヶ月以上延滞債権	88	282	349
貸出条件緩和債権	69	74	79
合計	2,470	2,573	2,707

(単位:百万円) (注) 2019年9月末の計数は、労働金庫法第94条第1項において準用する銀行法第21条の規定に基づく開示項目により分類し、集計方法においては当該仮決算数値に基づき、本決算時と同様の基準により集計した結果によるものです。



- 金融再生法ベース開示債権…金融再生法（金融機能の再生のための緊急措置に関する法律）ベースで、貸出金のほか債務保証見返、未収利息、仮払金などの総与信額における開示不良債権の状況です。四国ろうきんの開示債権の割合は0.63%と低く、資産の健全性が高いことが示されています。なお、不良債権については、優良保証機関の「保証」や「担保」等の処分によって、回収可能なものも含まれていますので、全てが回収不能となるわけではありません。四国ろうきんでは、将来発生すると見込まれる損失に備えて引当金を積み立てています。

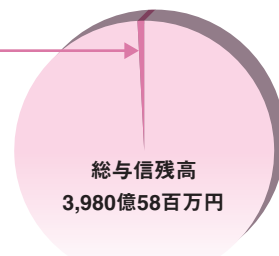
金融再生法ベース開示債権

0.63% 25億6百万円

開示対象債権区分

項目	2019年9月末	2019年3月末	(参考) 2018年9月末
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	965	980	1,013
危険債権	1,383	1,275	1,308
要管理債権	158	357	430
合計	2,506	2,612	2,750

(単位:百万円) (注) 2019年9月末の計数は、金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則第4条に規定される各債権区分により分類し、当該仮決算数値に基づき、本決算時と同様の基準により集計した結果によるものです。なお、未収利息については、正常先として集計しています。



自己資本比率について

自己資本比率とは、金融機関の経営の健全性を判断するための基準として法令により定められた指標です。貸出金などの総資産(リスクアセット)に対して自己資本がどの程度の割合かを表し、比率が高いほど経営体力があるといえます。

四国ろうきんのように、国内業務のみを行う金融機関の自己資本比率は、法令で4%以上（国内基準）であることが求められています。

四国ろうきんの自己資本比率は10.57%となり、国内基準4%を大きく上回っています。

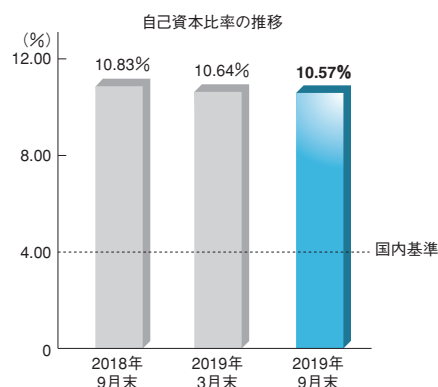
自己資本比率（単体）

10.57%

自己資本比率の推移

	2019年9月末	2019年3月末
1. 自己資本の構成に関する主な開示事項		
コア資本に係る基礎項目の額（イ）	36,363	35,678
コア資本に係る調整項目の額（ロ）	174	181
自己資本の額（イ）－（ロ）（ハ）	36,188	35,496
リスク・アセット等の額の合計額（ニ）	342,214	333,437
自己資本比率（国内基準）（ハ）／（ニ）	10.57%	10.64%
2. 定量的な開示事項		
信用リスクに対する所要自己資本の額	13,121	12,769
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	567	567
単体総所要自己資本額等	13,688	13,337

(注) 当金庫では、9月期決算を法定されておきませんが、内部規程に基づき、3月末本決算に準じた仮決算を行っております。左記2019年9月期の自己資本比率は、この仮決算結果に基づいて算定した概算値です。



有価証券の時価情報

1. 売買目的有価証券

(単位: 百万円)

	2019年9月末		2019年3月末		(参考) 2018年9月末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価差額
売買目的有価証券	—	—	—	—	—	—

2. 満期保有目的の債券

(単位: 百万円)

	種類	2019年9月末			2019年3月末			(参考) 2018年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	1,699	1,762	63	1,698	1,760	61	1,698	1,758	59
	地方債	199	202	2	199	204	4	199	205	5
	短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	社債	400	408	8	400	410	10	400	413	13
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	2,299	2,373	74	2,298	2,376	77	2,298	2,376	78
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	地方債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計		2,299	2,373	74	2,298	2,376	77	2,298	2,376	78

(注)

1. 時価は、2019年9月末における市場価格等に基づいています。
2. 社債には、政府保証債、公社団債、金融債、事業債が含まれます。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含まれておりません。

3. 子会社・子法人等株式及び関連法人等株式

子会社・子法人等株式及び関連法人等株式の時価を把握することが極めて困難と認められるため、下記5.に記載しております。

4. その他有価証券

(単位: 百万円)

	種類	2019年9月末			2019年3月末			(参考) 2018年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	債券	14,234	14,016	217	13,406	13,217	189	7,664	7,508	155
	国債	2,143	2,104	38	2,152	2,104	47	2,163	2,106	56
	地方債	304	299	4	306	299	6	308	299	8
	短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	社債	11,786	11,612	174	10,947	10,812	134	5,193	5,102	91
その他	8,733	8,277	456	7,300	6,861	438	4,973	4,541	432	
	小計	22,967	22,293	673	20,707	20,079	628	12,638	12,050	588
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	債券	199	200	△0	201	201	△0	5,661	5,712	△51
	国債	—	—	—	1	1	△0	1	1	△0
	地方債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	短期社債	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	社債	199	200	△0	199	200	△0	5,659	5,711	△51
その他	6,674	7,053	△378	8,526	8,954	△428	9,166	9,746	△580	
	小計	6,874	7,253	△379	8,727	9,156	△428	14,827	15,459	△631
合計		29,841	29,547	294	29,434	29,235	199	27,466	27,509	△43

(注)

1. 貸借対照表計上額は、2019年9月末における市場価格等に基づく時価により計上したものです。
2. 社債には、政府保証債、公社団債、金融債、事業債が含まれます。
3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含まれておりません。

5. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の主な内容および貸借対照表計上額

(単位: 百万円)

	2019年9月末	2019年3月末	(参考) 2018年9月末
子会社・子法人等株式	10	10	10
関連法人等株式	—	—	—
非上場株式	45	45	45
合計	55	55	55

「ろうきん」と「銀行」
どこが違うの？



ろうきんは、はたらく仲間がつくった福祉金融機関です。

ろうきんは、労働組合や生活協同組合などはたらく仲間が、お互いを助け合うためにつくった協同組織の金融機関です。



ろうきんは、営利を目的としない金融機関です。

ろうきんは、労働金庫法というルールに基づいて、営利を目的とせず公平かつ民主的に運営されています。



ろうきんは、生活者本位に考える金融機関です。

はたらく人からお預かりした資金は、はたらく人たちの大切な共有財産として、はたらく仲間とその家族の生活を守り、より豊かにするために役立てられています。

働くあなたを応援したい
四国ろうきん 四国労働金庫

〒760-0011 高松市浜ノ町72番3号 TEL.087-811-8000 FAX.087-811-8100

○本部フリーダイヤル 0120-505-690 ○ろうきんダイレクトヘルプデスク 0120-459-690 ○多重債務相談デスク 0120-174-690

ホームページ <http://www.shikoku-rokin.or.jp>

モバイルサイト <http://www.shikoku-rokin.or.jp/m/> スマートフォンサイト <http://www.shikoku-rokin.or.jp/sp/>